

HoloLens専用アプリケーション ARビューワー 『Holodemix』



■AR(拡張現実)サービス

HoloLensでARを実現するまでの課題



ARの実現方法がわからない

- HoloLensがあっても、CADデータを表示するにはどうすれば良いのかわからない
- 開発をどこに依頼すれば良いのかわからない

AR検討がすぐにできない

- ARの開発に時間がかかり、すぐにAR検討ができない
- ARを開発するには高額な開発費が必要で困っている

現実空間への位置設定が面倒

- 現実空間の何処に3Dモデルを表示させるかの位置設定が面倒
- 3Dモデルの表示位置がズレてしまい、元の位置に戻せなくなった
- 複数のモデルを同時に表示させたいのに出来ない

ネット環境が無い

- ネットワークが繋がらないのでARが出来ない
- ネットワーク環境を整えるには、時間とコストがかかる

『Holodemix』が解決します



『Holodemix』でARを実現するまでのステップは3ステップだけ

- 開発は不要です
- CADデータを中間ファイルに変換したら、直ぐARによる検証が可能です
- HoloLensへのデータ転送には、PCとHoloLensをUSB接続して転送できるので、ネット環境が無くても利用可能です
- データはHoloLens本体に保存されます

STEP 1

3Dデータ準備



- CADデータを準備します

STEP 2

中間ファイルに変換



- ポリゴン化
- データ軽量化

STEP 3

HoloLensに転送



- PCとUSB接続
- Wi-Fi経由



『Holodemix』アプリを使うと、こんなことができます



開発不要でAR検討

- 従来、AR表示に必要なアプリ開発は不要です。
- データを変換してHoloLensに入れたら直ぐにAR表示できます。



ネット接続不要

- ネットワークが接続できない環境で利用できる為、電波状態や遅延を気にする必要はありません。



マーカーレス表示

- マーカーが無くても、モデルを任氏の場所に配置（表示）できます。
- 標準装備されている移動・回転機能を使い、位置を調整できます。



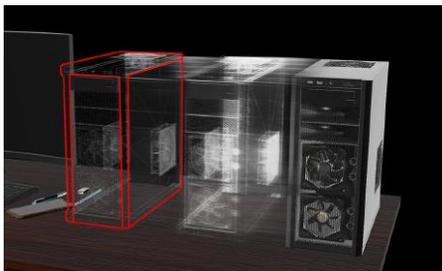
位置の微調整

- 標準メニューを使用して、指定ピッチで移動／回転ができます。
- 自基準で移動／回転ができます。
- メニューは任意の位置に表示でき、空間に固定することもできます。



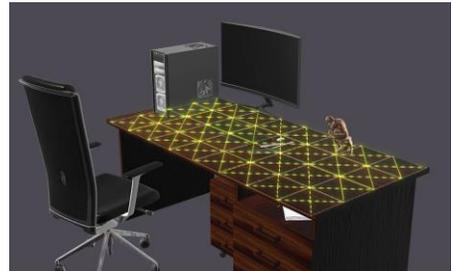
位置の記憶

- 適切な位置が見つかったら、スナップショット機能でその状態を記憶できます。
- モデルを移動させても、記憶した状態にリセットできます。



平面認識機能

- 現実空間の床や机の平面を認識し、その平面上にモデルを配置できます。



複数モデルの表示

- 複数の持てるを空間に表示できます。
- マーカー機能（オプション）を使えば、予め決めたモデル同士の位置関係が再現できます。



QRマーカー表示（オプション）

- QRマーカーを読み取り、モデルを指定の場所に素早く配置できます。
- 複数のQRマーカーを登録できますので、表示範囲の大きなモデルは精度良く配置できます。

